

(別紙)

事業計画書

1. 補助事業の名称

テイクアウトメニューの開発および周知による販路開拓事業

2. 事業者の概要

業種	小売業(飲食店)
創業(設立)	2003年10月4日
資本金	(個人事業主) 円→法人の場合のみ記載
従業員数(組合員数)	4人(役員, 代表, 専従者除く。常時使用する従業員)
前年度又は前年の売上高	18,376,636円

3. 補助事業の内容

1. 事業の必要性

(自社の売上動向や市場ニーズ、経営課題等を踏まえ、事業の必要性について記載してください。)

宇治市内にてカフェレストランを開業以降、地元農家の野菜を使用したオリジナルメニューが好評を博し、順調に固定客を確保してきました。

野菜を使った手作りのドリンクメニューをはじめ、ランチだけでなく夜でも満足いただける手頃な料理を売りにし、競合他店と比べても特に20代~50代の女性客から支持をいただく中、コロナ禍に伴う外出自粛等の影響は非常に大きく売上は5割以上減少。影響は長期化しており店内飲食の客数回復の目途が立たない中、本年10月の最低賃金引き上げによる経費の圧迫も重なり、外部環境に適応した対策を急務としています。

2. 事業の取組内容

(本補助事業において取り組む内容について記載してください。)

店内飲食については今後も当面厳しい予測をせざるを得ない中、比較的影響を受けにくく巣ごもり需要や、外でのピクニック需要も見込める「テイクアウト用新商品の開発、販売」を新たに開始します。

そのために必要となる業務用オーブンを今回導入。より短時間で既存メニューも、新商品メニューもどちらも効率良く提供が行なえる環境を整え、合わせて、新メニューのチラシ、DMを作成、配布することで売上回復および悪化した利益率の改善を目指します。

3. 想定される事業効果

(本補助事業の取組を通じて、どのように収益の向上につながるのか記載してください。)

気軽に持ち手ができ、外での飲食に適したメニューを新たに加えることで、店内飲食を敬遠する顧客層の集客が見込め、落ち込む店内飲食売上のカバーに効果を生むことが出来ると考えています。

4. 補助事業の経費（消費税を抜いた額を換算し記入すること。）

取組総事業費 380,000 円（取組の総経費）

補助対象経費 365,000 円（取組のうち補助対象経費の合計）

<内訳>（見積書等の項目を参照し、項目ごとに消費税抜きの金額を記載）

- ・業務用オープン @300,000 × 1台 = 300,000円
 - ・新メニューチラシデザイン外注費 @20,000 × 1式 = 20,000円
 - ・新メニューチラシ印刷費 @10×3,000部 = 30,000円
 - ・新メニューチラシポスティング費用（3000部） @15,000×1日間=15,000円
-
- ・業務用オープン年間保守費用（対象外経費） = 15,000円

①補助対象経費合計 365,000円 × 小規模事業者補助率 2/3 = 243,333円

②上記 243,333円と小規模企業の補助上限額 20万円のうち、低い方（20万円）

③交付申請書の「交付申請額」は、上記②により、「200,000円」と記載。

注) 交付決定日以降に請求・支払行為をしたものが対象
（事前着手届が提出されていても、交付決定日以降の精算払分のみが対象）